

令和4年がん検診受診率について（国民生活基礎調査結果）

1 趣 旨

令和5年7月4日に厚生労働省から公表された「令和4年国民生活基礎調査」の結果をもとに、独自にがん検診受診率を算出した。胃がん検診は目標の受診率50%以上を達成したが、その他のがん検診は目標を達成できなかった。

◆令和4年国民生活基礎調査結果

区分	胃がん	肺がん	大腸がん	子宮がん	乳がん
広島県	50.4%	47.7%	44.0%	42.5%	42.6%
全国	48.4%	49.7%	45.9%	43.6%	47.4%

前回調査 (R1) 比較増減					
受診率	2.9p 上昇	1.8p 上昇	3.0p 上昇	1.1p 減少	1.3p 減少

区分		胃がん	肺がん	大腸がん	子宮がん	乳がん
(参考) 令和元年	広島県	47.5% (41.3%) ※1	45.9%	41.0%	43.6%	43.9%
	全国	49.5% (42.4%) ※1	49.4%	44.2%	43.7%	47.4%
平成28年	広島県	40.5%	42.1%	38.8%	40.2%	40.3%
	全国	40.9%	46.2%	41.4%	42.4%	44.9%

- ※1 胃がん検診については、「がん予防重点健康教育及びがん検診実施のための指針」の改正により、現在は50～69歳の者に2年に1度の受診を特に推奨する形となっている。令和元年集計より、改正を反映した受診率を示しているため、従前の対象者（40～69歳、過去1年間の受診）で集計した場合の結果を参考に示しているもの。
- ※2 令和元年、4年：肺・大腸については過去1年以内、胃・子宮・乳については過去2年以内の受診状況
平成28年：胃・肺・大腸については過去1年以内、子宮・乳については過去2年以内の受診状況

◆◆ 令和4年国民生活基礎調査 ◆◆

【調査実施】 令和4年6月

【調査対象】 全国の約30万世帯・世帯員約67万4千人

※うち広島県のがん検診受診率算出の対象者

検診種別	調査回答者数	住民基本台帳年齢階級別人口(参考)R4.1.1現在	抽出率
胃(50～69歳)	706人	693,349人	0.1%
肺、大腸がん(40～69歳)	1,038人	1,083,935人	0.1%
子宮がん(20～69歳)	767人	820,433人	0.1%
乳がん(40～69歳)	542人	545,201人	0.1%

2 年齢調整死亡率

がん対策の全体目標である75歳未満年齢調整死亡率は、長期的な傾向としては、全国平均を上回る率で着実に減少している。

(単位：人口10万人当たり人)

区分	平成13年	平成23年	令和元年	令和2年	令和3年	目標(R5)	減少率	
							(H13→R3;20年)	(H23→R3;10年)
全国	100.3	83.1	70.0	69.6	67.4	—	32.9%	15.7%
広島県 (全国順位)	102.1 (36位)	80.5 (20位)	67.1 (13位)	65.9 (13位)	64.4 (13位)	58.0	37.7%	16.1%

3 今後の対応

年齢層ごとの受診率や他県との比較など分析を行うとともに、これまでの受診率向上対策事業の検証などを行った上で、目標達成に向けて、今後の取組について検討する。